９月の院内学級

院内学級には大学の看護学部の学生さんが、病院実習の一つとして見学に来られる時があります。院内学級の説明をしたり、日ごろから子どもたちへの対応で心掛けている事などの話をしたりします。学生さんが実際に来室する子どもたちと関わることもあるのですが、子どもたちは歳のちかいお姉さんお兄さんたちと活動できると知ると大はしゃぎです。いつもより学習プリントの進みも速くなります。このようなちょっとした時間が、入院中の子どもたちの心を癒し前向きな気持ちにしてくれるのだと思うと、入院生活での人との出会いも大事にしなければと感じます。大人でも手術や入院は心身の大きな負担となるのですから、子どもならなおさらです。ゲームや工作などの楽しくほっとする活動や時間を通して安心して入院生活を送ることができるようこれからも工夫していきたいです。

学習園では、サツマイモがだんだん大きくなってきました。土から顔を出し始めているものもあります。昨年は不作だったのですが、今年は豊作の予感がします！ヒマワリの後にはビオラの種を蒔きました。元気に芽を出して秋から春にかけて綺麗な花を咲かせてほしいです。

今月の壁面掲示は「お月見」と「ぶどう」、トピックスは食欲の秋ということで「作曲家の好物」でした。